

各位

会社名 IMV株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡本 二郎
(JASDAQ・コード7760)
問合せ先 執行役員経営企画部長 桂井 徹
電話 06-6478-2565

新型マイグレーションテスター「MIG-9000シリーズ」発売のお知らせ

動電式振動シミュレーションシステムで国内シェアトップのIMV株式会社（本社：大阪市西淀川区、代表取締役社長：岡本 二郎）は、多層基板の絶縁評価に適したハイサイド測定方式の新型マイグレーションテスター「MIG-9000シリーズ」を開発し、発売することとなりましたのでお知らせいたします。発売開始にあたり、平成22年6月2日～4日に東京ビックサイトにて開催される「第40回国際電子回路産業展（JPCA Show 2010）」に出品いたします。

記

型名	定価	販売予定台数	主要顧客
MIG-9000シリーズ	760万円 (50チャンネル仕様)	40台/年	プリント配線基板、絶縁材料、実装メーカー

■ 主な特長

- ◆ ハイサイド測定方式の採用により試験前の煩雑なケーブルのはんだ付け作業を軽減
- ◆ 電圧が過度に印加されることによる破壊事故を防止するため、全チャンネルにオープンケルビン検知を搭載
- ◆ 小型ディスプレイ搭載で、ホストパソコンが無くても動作状態や異常内容を表示
- ◆ Cx（静電容量）を計測することにより部品内蔵基板への試験にも対応（オプション）
- ◆ Tanδ（誘電正接）を計測することにより試験時間を短縮（オプション）

■ マイグレーションテスターとは

マイグレーションテスターは多層化、高密度化が進むプリント配線基板において、配線や電極に使用している金属がイオン化し、析出成長することによりショートする現象（イオンマイグレーション）を評価・測定する検査装置です。当社は1チャンネル/1電源/1計測回路をマイグレーションテスターに初めて採用した「MIGシリーズ」を中心に、信頼性評価に関する製品を多数扱っております。

■ 開発の背景

近年プリント配線基板は小型化・多層化が進んでおり、試験需要も一層から多層基板へ移行しております。多層基板にはその信頼性の向上が求められておりますが、従来の検査装置では検査前の準備段階でケーブルのはんだ付けに工数がかかることや、電圧が過度に印加されることによる破壊事故へ懸念があり、新たな検査装置の開発が待ち望まれておりました。

■ 製品化の狙い

「MIG-9000シリーズ」は従来のMIGシリーズの機能に加え、ハイサイド測定方式の採用により、ケーブルのはんだ付け工数を短縮することができるほか、電圧が過度に印加されることによる破壊事故を防止するために、全チャンネルにオープンケルビン検知を搭載しました。また、静電容量・誘電正接を計測（オプション）することにより、従来機では困難であった部品内蔵基板や内蔵キャパシタの絶縁評価が可能となりました。

以上